

三年一組

①文化祭の係決めで、フィボナッチ数列と素数を使ったオシャレでクレーストな係決めに、クラスの団結力が強まり、一組みんながアミーゴになれた(楽しめた)瞬間でした。

②担任・副担任ダブルで体格が良すぎて、そのシルエットたるやプロレスラーそのものだったこと。

③私たちが団訓をしてきて得たことは「時間を失った」という実感だけでした。私たちは受験直前になってその時間の重さに気づきました。今生きていることの一瞬一秒がかけがえない時間です。二度と戻らない高校生活を全力でグスターレ(楽しめ)。



三年二組

①クラスでの一番の思い出は、クラスマッチです。プレーも応援も全力で、とても盛り上がりました。男子サッカーでは優勝し、良い結果を残すことができました。

②川崎先生からアイスの差し入れをいただき、みんなとても喜んでいました。川崎先生は、さらっとダジャレを言い、あまり気づいてもらえず先生の方から「わかったか?」とちよつと笑いながら聞いてきて、後からじわじわとくるのが面白かったです。

③三年間はあつという間に過ぎるので、勉強も部活も精一杯して目標達成に向けて頑張ってください。応援しています!



三年三組

①私たちのクラスは全員が個性的で、元気で笑顔が絶えず毎日楽しい思い出でした。また、クラスマッチで男子の元気の良さ、文化祭では女子の器用さが発揮され、良い思い出となりました。

②上島先生は自称「天然」なだけあって、たまに抜けているところがありました。(笑)白濱先生は「同窓会の度に友人が減っていく」エピソードが、年齢と相応の説得力があり、面白かったです。(笑)

③勉強と部活の両立が難しいとは思いますが、今までやってきたことの結果は必ず出ます。あとは遊びと勉強のメリハリ、十分な食事と睡眠が大切です!



三年四組

①クラスマッチや体育祭での四組の応援はとても熱かったです。選手と応援が一体となってみんなで闘い、よい結果を残すことができ、みんなの距離がぐっと縮まりました。

②磯部先生は車のナンバーが結婚記念日でも奥さんと仲がいいことを自慢しています。二之宮先生は授業中に雷が鳴るとクラスで一番怖がり、その怖がる姿がとてもかわいいです。また安楽先生はSHRの短さが誰にも負けません。あと授業中にいきなり掃除を始めます。

③日々の小さな積み重ねが後で大きな力になります。後で後悔しない今を過ごして下さい!



3年生クラスの思い出

- ①クラスでの一番の思い出
- ②担任・副担任の先生のおもしろエピソード
- ③後輩達へのメッセージ

三年五組

①クラスマッチでは数多くの種目で決勝トーナメントに進み、優勝こそ逃したものの、応援する人も競技をする人もクラス一丸となって闘い、忘れられない楽しい思い出となりました。

②行事のときはいつもカメラを持ち歩き、ほほえましく生徒達の写真を撮る久保先生。熱心な授業で休み時間までも授業をしよう濱川先生。いつも元気120%の西先生。とても個性のある先生方でした。

③高校生活を送れるのは今だけです。勉強に部活と大変なこともあると思いますが、どちらとも後悔のないように頑張ってください!!



三年六組

①行事等で目立った成績は修められなかったですが、クラス一丸となって臨むことができ、いい思い出となりました。

②磯部先生は、大きな声で喧嘩することがあり、眠い人はもちろん、起きていた人もびっくりしました。福森先生は、朝日子の授業がハイスピードでした。「ここだけの話」はしっかり秘めておきます笑。當房先生は、白頭のことをネタにしていました。最初は、みんな反応に困っていましたが、今では笑ってしまいます。

③自分の道は自分で決めるのが一番です。どんな逆境にもめげずに立ち向かってください!



三年七組

①三年七組は笑いが絶えず、みんな仲の良いクラスでした。

②上赤先生は、よくニヤニヤしながら溺愛する娘さん達の話や、分かん人にか分かんないマニアックなゲームと漫画の話を楽しみます。豊くんとのコラボも面白かったです。また、みんなに体調管理を気を付けるように言っていた先生でしたが、一人だけ感染性胃腸炎になっていました。(笑)

③除川先生は、ビートルズ愛に溢れていて、曲を用いた授業は楽しかったです。また、先生の優しい笑顔は私達をとて癒してくれました。

④高校生活は、一瞬で過ぎていきます。迷ったら、とりあえずやってみる!



三年八組

①クラスでの一番の思い出はクラスマッチです。全種目で予選突破、総合優勝と良い結果を出すことができました。応援も盛り上がり、最高の思い出になりました。

②担任の北原先生は、とても真面目ですが、何かイベントのあるときはいつもお菓子をプレゼントしてくれました。副担の安留先生の英語の発音のすばらしさにおどろきました。

③部活に勉強と大変だと思えますが、最後までやりきってください。あつという間に終わってしまう高校生活、悔いのないように頑張ってください。応援しています!



卒業によせて

Shine

卒業生代表 末吉 桃佳



たらずくに手を差し伸べてくれる、楽しむ時はとことん楽しむ、尽くす、周囲を巻き込んで盛り上げてくれる、そんな人達と過ごした日々は私にとってみんなにとっても輝いていたにちがいないありません。

一番多くの時間を共にした友人、導き背中を押してくれた先輩、先輩方や先生方、いつも傍で見守ってくれた家族。沢山の力のおかげで私たちは青春を謳歌し、努力し続けることができました。

これから先、進む道はバラバラでも五十二期生ならなんとかなると思います。至らぬ高に、ワワフルで素直で愛のある五十二期生。三年間の思い出を胸に前進する。いつもの私たちがでたいです。出会えてよかった。困っていた。幸せでした。ありがとうございます。

旅立ちを祝して

在校生代表 東 伊織



五十二期生として過ごし、三年が経とうとしています。入学した時と比べると大人っぽくなり、互いの絆も深まったように思います。三年間で様々な経験・気持ちを共有し、多くの試練を支え合いながら乗り越えてきたことで、五十二期生は一集団として大きく成長し、一つになれたことができました。

でも、変わらないものもあります。分け隔てのない優しさ、よく笑う明るさです。困っていた。幸せでした。ありがとうございます。

そんな先輩方のおかげで今の私たちがいます。私たちの成長は、先輩方の姿があつてこそのものであります。きっと先輩方が築きあげてきてくれたものを、よりよく築いていけるはずですよ。

五十三、四期生一同努力していきます。卒業の日を迎えて、今多くのことが蘇っていることでしょうか。鹿児島中央高校での三年間はきつと、これから先ずっつと大切な思い出になるはずですよ。私たちが在校生は、先輩方の輝かしい未来に多くの幸せが待っていることを心から祈っています。たくさんのお返事があつたらいいなと思います。本当にありがとうございます。

五十二期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。私たちが入学した時からずっと、先輩方の背中を追いかけました。学習に対する真剣な姿勢、部活動に全力で打ち込む姿、思いつき学校行事を楽しむ姿。いくら私たちが追いつこうと頑張っても、なかなか手の届かない存在。私たち後輩にとって、先輩方の存在は遠くで偉大で憧れでした。しかし同時に、

一月十九日から二十二日にかけて、国内体験学習が行われました。リレー形式で報告してもらいます。

二年六組 関山菜々子

一日目は、鎌倉、横浜訪問です。バスに乗っての観光が主で、バスガイドさんのお話を聞きながら、様々な場所を訪れました。鎌倉ではまず、鎌倉大仏を見物しました。想像以上に大きくて驚きました。大仏の胎内に入っている様子を見学している人も多くいました。その後、鶴岡八幡宮へ行き、散策をしました。美しい景色と、小町通りの落ち着いた雰囲気がとても素敵でした。お土産を買ったり、おみくじをひいたりしている人が多かったです。買い物や写真撮影などをそれぞれ楽しんでいました。バスで移動し、横浜の中華街で夕食を食べ、散策をしました。こちらもみんな楽しんでいました。



一日目から様々な名所を訪れることができ、とても充実していました。

二年六組 田中 佑汰

二日目は企業訪問、大学体験プロジェクト、都内自主研修でした。企業訪問では防衛省などを訪れました。そこでは働くことの意味や大切さを学びました。仕事は関わっている人だけではなく、同じ職場の全ての人に関わって成り立っているとい



二年八組 牧野 紗江

三日目はデイズニーアカデミーの講義で理解を深めた上で夢の世界へ。

今年はずいぶんランドに行く回数が多いです。ランドに行く回数が多いです。ランドに行く回数が多いです。

国内体験学習!



都内自主研修は自分達で行きたい所に行きました。東京の朝の電車は本当に満員で、自分の想像していた満員とは違いました。すき間がなく押し出されそうになりました。自分達で行きたい所に行きました。東京の朝の電車は本当に満員で、自分の想像していた満員とは違いました。すき間がなく押し出されそうになりました。

鹿児島に帰ってきました。短い間でしたが、多くの事を学んだ、良い思い出になりました。修学旅行が終わってしまっただけだと思いきや、三年生が始めるよう無事に三年生を始められるよう実した日々になっていきます。



先生! 教えて聞かせて Q&A



下津先生

クイズ この先生は誰でしょう?



今回、私達は??先生について生徒に色々聞いてみました。授業中、とこどこにギャグをはさんで生徒の興味・関心をひく先生に、興味を持って一年生のS君に??先生の名言を聞いてみるとたくさん出てきたので面白かった。その二つに「はい、いいえ」という言葉がある、カレーライスにはカレーライスの食べ方がある。というものと、「圧倒的な基礎力」の二つでした。どちらも数学の授業の中で生まれたものらしく、周りにいた生徒も相づちを打っていました。

次に、この先生のくせを探してみました。すると、話と話の間に「え、ねっ」とはさむことや、教室の中を歩くときに年季の入った指し棒で手のひらをたいていたりすること、思っていたよりもたくさん出てきました。そして、この指し棒についてですが、これには面白いことが書いてありました。それは、「幾何学に王道なし」という昔の学者さんの言葉でした。よくよく思い出してみると、これも口くせのように言っていました。

最後に、生徒にこの先生のことをどう思っているか聞いてみると、皆口々に、「とにかく、おもしろい先生だねー」さあ、この先生は誰でしょうか? (加世田温樹)

Q. どうして教師になったのですか?
S. 一番は体育祭だね。
Q. どうしてですか?
S. 応援団を中心に、学年が閉結し、競い合うところに魅力を感じるね。
Q. 教師になってよかったと思ふときはありますか?
S. 今もそうだけど、生徒たちが話をしてくれたり、卒業してから会いに来て活躍しているという話を聞いたりすると、教師になって良かったと思うね。
Q. 教師じゃなかったらどんな職業に就きたかったですか?
S. 二つあったんだよね。一つは、科学者かな。学校での実験が大好きだったから。もう一つは、ファンシーショップ(サンリオ)の店員かな。子どもと接する職業にあこがれてたからね。
Q. 教師として心がけていることはありますか?
S. 生徒の立場になって考え、生徒の声にしっかりと耳を傾けるように心がけているよ。
Q. 高校時代にしてあげたよかったなあと思ふことはありますか?
S. 部活をして良かったかな。特に、スポーツ系や応援団に入

下津先生は、我々の急なお願にも関わらず、とても優しく丁寧に話を聞いてくれました。インタビューを引き受けてくださいました。インタビュー時にも、中学校教師だった頃のエピソードや、その他のいろいろな楽しいお話もしてくれました。下津先生のおっしゃるようなポジティブに考えることが大切だと思いました。

下津先生と、あまり接したことがない生徒も、一度話しかけてみてはどうでしょうか。

(上野 紘武)

鹿児島中央高校に赴任して五年目、化学を教えてください。二年部の下津健雅(じもつ たけつね)先生に、いろいろな質問をしてみました。

CBP

二月十日、鹿屋中央高校で、CBP(中央高校交流会議)が行われた。本校からは生徒会本部役員十四名が参加した。

今回当番校であった鹿屋中央高校は文理・進学・体育・教養・調理・食物といった六つのコースに分かれている。

その中でも今回は、調理コースの調理実習を通して、他校との交流を図った。最初は慣れないことも多く、難しく感じることもあったが、六校の生徒が互いに協力することで交流も深まり、充実した時間を過ごすことができた。

今回CBPに参加するのは二回目となった生徒会長の東伊織さんは、「他の学校のことを知り、他校の生徒ががんばっている姿を見て刺激を受けました。もつと他校との交流をして、鹿児島中央高校の発展へとつなげていきたいです。」と語った。

次年度CBPでは、新聞の作成、海の清掃活動、ブルバブ集めなどの取り組みが予定されている。このような活動があることに全校生徒が興味を持ち、積極的に参加していくべきである。

(今村 心太・湯田 萌)



放送コンテスト九州大会出場

高津優姫さん



え合うことが大切だということに気づいた。」と、協力することの重要性と、仲間への感謝の気持ちを感じました。

昨年十二月に開催された、第三十八回九州高校放送コンテスト大会に出場した、二年生の高津優姫さんにお話を伺いました。

後悔をしないように、自分が今出せるだけの力を出しきろうと思って大会に臨んだ高津さん。まず、大会前に気づけたことについて聞くと、「大会前は、喉をこわさないようにすること、緊張感に慣れることに気づけた。」と、大会に対する真摯な姿勢が伝わってくる答えでした。

「大会を通して、気づいたことは何ですか。」という質問には、「アナウンスは個人戦だと思っていたが、部員みんなが支えてくれた。」と、部員みんなが支えてくれたこと、緊張感に慣れることに気づけたこと、大会に対する真摯な姿勢が伝わってくる答えでした。

部活におじゃま！

剣道部

剣道部(男子五人、女子五人、計十人)の主将の松久保聖史さんにインタビューをさせてもらいました。

剣道部は毎日の素振りと基本稽古、掛かり稽古、生徒同士の稽古に加え、土日は朝八時から階段ダッシュ、九時から一時ごろまで四時間ほど練習しているそうです。大変なことは何か聞いたところ、「部員が男女共にギリギリで活動していて、少ない人数で一人一人がそれぞれ頑張っているが、なかなか結果が出ない」ということでした。



この取材を通して感じたのは、「部員の仲の良さ」です。高津さんは、「アナウンスでは、お互いに聞き合っていてアドバースを出したり、緊張感を与えたりするため、チームプレーが必要。」と語っていました。この

仲の良さを生かして、目標に向けて頑張りたいです。高津さんをはじめ、放送部の今後の活躍に期待したいです。

(竹原 美柚)

女子硬式テニス部 全国大会出場!

九州大会で六位入賞を果たし、三月二十日の全国大会に出場予定の女子硬式テニス部にインタビューをさせてもらいました。

「全国大会に向けて意気込みを。」という質問に対してキャプテンの重田結衣さんは、「このチームで全国大会に行くのは



部員数は十三人で、二年生七人の全員、一年生の三分の二が経験者で、比較的経験者が多い部です。

最後に顧問の木脇先生にお話をうかがいました。全国大会に向けて、「チームの目標でもある文武両道を基本として、全国大会までしっかり普段の生活を

胸を張れるように、練習の成果を活かして、全員で団結して頑張りたい。」と語っていました。

(増永 慶介・岸上 智紀)

「この大会で激戦の末に見事、女子の部で優勝を果たした、二年までは、「えー。ふざけてもいい？」など冗談を言っていました。剣道の話になると、顔から笑顔が消えて、目に力が入るのです。



この大会で激戦の末に見事、女子の部で優勝を果たした、二年までは、「えー。ふざけてもいい？」など冗談を言っていました。剣道の話になると、顔から笑顔が消えて、目に力が入るのです。

(上栗 真祐)

気になるあの人

太良木あやかさん

二〇一六年十一月六日、川内アリーナで学剣連かごしま剣道選手権大会が開催されました。

優勝をした彼女から出てくるコメントは、「優勝できて嬉しかったです。しかし、「や」と結果がついてきた」と今まで大変努力してきたことがひしひしと伝わってくるような言葉や、「まだまだ納得できない」と結果だけでなく内容に目を向けたコメント。

「ききゅうとちきゅう」みなさんは「ことばの教室」を知っていますか。初めて耳にするという人も多いと思います。「ことばの教室」とは、滑舌や言語機能の発達に支援が必

弁論大会



一月十四日に第四十九回校内弁論大会が行われた。学級予選を経て選ばれた八名が豊かな表現力で弁論を行った。

今回最優秀賞に選ばれたのは、二年七組の重井優希さん。「ことばの教室」での自身の経験を通して、苦手なことを克服し、さらに挑戦していく前向きな姿勢について伝えてくれた。

「ち」になっていた私にとって、想像もつかないほどの大役でした。(中略)

しかし、私がことばの教室に通っていたころ、支援が必要と判断されたにも関わらず、親の意向で通わなかったり、再検査にすら行かなかったりする子どもがいました。中には「うちの子は障がい者じゃないし、再検査なんて行く必要ありません」と主張する親がいたと聞き、偏見のない社会を作ろうではありませんか。私達一人一人の意識で、未来は変わります。

「ききゅうとちきゅう」みなさんは「ことばの教室」を知っていますか。初めて耳にするという人も多いと思います。「ことばの教室」とは、滑舌や言語機能の発達に支援が必

「ことばの教室」での自身の経験を通して、苦手なことを克服し、さらに挑戦していく前向きな姿勢について伝えてくれた。

最後に、助言をいただいた先生方、本当にありがとうございました。最高のバレンタインデーになりました。



「ききゅうとちきゅう」みなさんは「ことばの教室」を知っていますか。初めて耳にするという人も多いと思います。「ことばの教室」とは、滑舌や言語機能の発達に支援が必

「ききゅうとちきゅう」みなさんは「ことばの教室」を知っていますか。初めて耳にするという人も多いと思います。「ことばの教室」とは、滑舌や言語機能の発達に支援が必

「ききゅうとちきゅう」みなさんは「ことばの教室」を知っていますか。初めて耳にするという人も多いと思います。「ことばの教室」とは、滑舌や言語機能の発達に支援が必

「ききゅうとちきゅう」みなさんは「ことばの教室」を知っていますか。初めて耳にするという人も多いと思います。「ことばの教室」とは、滑舌や言語機能の発達に支援が必

平成二十八年度 校内弁論大会結果

最優秀賞

二年七組 重井 優希

「ききゅうとちきゅう」

優秀賞

一年五組 富山 香奈

「言葉の重み」

二年五組 里 萌々香

「私のサンタさん」

クイズの答え



正解は、山口悟先生です。

小学生の時「熱中時代」というドラマに影響されて学校の先生を目指すようになりました。趣味はなんと油絵だそうで、他にもバドミントンや子守りにも勢を出しているそうです。山口先生は西伊敷小、緑丘

編集後記

今年も五十二期生を送り、一年の締めの時を迎えました。彼らの三年間は、中央高校の歴史と伝統をさらに強いものにして

今年度も学校新聞へのご協力、ご愛読ありがとうございました。来年度も多くの生徒、先生方の活躍で紙面が賑わうことを期待しています。

「高い志を持つよう」 (吉永 陽花・竹之内瞳里)